

# 調剤過誤報告書

大阪歯科大学附属病院 病院長 殿

保険薬局名	
薬局所在地	
管理薬剤師名	印
電話番号	
FAX 番号	

患者 ID		生	大正			
患者氏名	(男・女)	年	昭和	年	月	日
患者住所	〒 -	月	平成			
		日	令和			
保険医氏名		TEL				
		診療科				

発生日時	令和 年 月 日	午前	時
		午後	分
1. 調剤過誤の内容			
2. 発見の経緯 (状況)			
3. 対処の内容			
4. 患者の状態・意思表示・感情等 (客観的記述)			
5. 何が原因と思われますか			
6. その他			

指示等年月日	: 令和 年 月 日
保険医からの指示内容	
回答内容	
備考	

## 《 注意事項 》

調剤過誤報告書(院外様式 4)と院外処方せんを添えて報告する。

( 大阪歯科大学附属病院 医事課 FAX 番号 : 06-6910-1071 )

# インシデント・アクシデント分析コード表および集計表

## 1) 発生月

01-01	1月
01-02	2月
01-03	3月
01-04	4月
01-05	5月
01-06	6月
01-07	7月
01-08	8月
01-09	9月
01-10	10月
01-11	11月
01-12	12月
01-13	不明

## 2) 発生曜日

02-01	月曜日
02-02	火曜日
02-03	水曜日
02-04	木曜日
02-05	金曜日
02-06	土曜日
02-07	日曜日
02-08	不明

## 3) 発生時間帯

03-01	0～1時台
03-02	2～3時台
03-03	4～5時台
03-04	6～7時台
03-05	8～9時台
03-06	10～11時台
03-07	12～13時台
03-08	14～15時台
03-09	16～17時台
03-10	18～19時台
03-11	20～21時台
03-12	22～23時台
03-13	23～24時台
03-14	不明

## 4) 患者・性別

04-01	男性
04-02	女性
04-03	特定できない

## 5) 患者・年齢

05-01	0～10歳
05-02	11～20歳
05-03	21～30歳
05-04	31～40歳
05-05	41～50歳
05-06	51～60歳
05-07	61～70歳
05-08	71～80歳
05-09	81～90歳
05-10	91～100歳
05-11	100歳以上

## 6) 発生場所

06-01	歯科外来・診察室
06-02	歯科外来・待合室
06-03	歯科外来・その他
06-04	医科外来・診療室
06-05	医科外来・待合室
06-06	医科外来・その他
06-07	病棟・ナースステーション
06-08	病棟・病室
06-09	病棟・処置室
06-10	病棟・浴室
06-11	病棟・その他
06-12	中央手術室
06-13	小手術室
06-14	臨床検査室
06-15	画像検査室
06-16	薬剤科
06-17	中央技工室
06-18	医員技工室
06-19	学生技工室
06-20	その他の技工室
06-21	栄養管理室・調理室
06-22	トイレ
06-23	中央滅菌材料室
06-24	サブライセンタール
06-25	エントランスホール・中央受付
06-26	その他

## 7) 患者の心身状態

07-01	障害なし
07-02	意識障害
07-03	視覚障害
07-04	聴覚障害
07-05	構音障害
07-06	精神障害
07-07	痴呆・健忘
07-08	上・下肢障害
07-09	歩行障害
07-10	床上安静
07-11	睡眠中
07-12	薬剤の影響下
07-13	麻酔中・麻酔前後
07-14	せん妄状態

## 10) 当事者の経験年数

10-01	0年
10-02	1年
10-03	2年
10-04	3年
10-05	4年
10-06	5年
10-07	6年
10-08	7年
10-09	8年
10-10	9年
10-11	10年
10-12	11年～15年
10-13	16年～20年
10-14	21年～25年
10-15	26年～30年
10-16	31年～35年
10-17	35年～40年
10-18	40年以上
10-19	不明
10-20	当事者複数

## 12) 発生場所

12-01	オーダー・指示だし
12-02	情報管理・伝達過程
12-03	与薬準備
12-04	処方・与薬
12-05	調剤・製剤管理等
12-06	輸血
12-07	手術
12-08	麻酔
12-09	処置
12-10	診察
12-11	検査
12-12	医療機器等の使用・管理
12-13	療養上の世話
12-14	給食・栄養
12-15	物品の搬送
12-16	患者・家庭への説明
12-17	施設・設備
12-18	技工物製作時
12-19	歯牙疾患処置
12-20	外科処置
12-21	歯周処置
12-22	歯冠充填時
12-23	歯冠形成時
12-24	印象・咬合採得時
12-25	歯冠修復物装着時
12-26	義歯装着時
12-27	修理時
12-28	その他

## 8) 発見者

08-01	当事者本人
08-02	同職種者
08-03	他職種者
08-04	患者本人
08-05	家族・付き添い
08-06	他患者
08-07	本学学生・医療実習生
08-08	その他

## 11) 当事者の部署配属年数

11-01	0年
11-02	1年
11-03	2年
11-04	3年
11-05	4年
11-06	5年
11-07	6年
11-08	7年
11-09	8年
11-10	9年
11-11	10年
11-12	11年～15年
11-13	16年～20年
11-14	21年～25年
11-15	26年～30年
11-16	30年以上
11-17	当事者複数

## 9) 当事者の職種

09-01	医師
09-02	歯科医師
09-03	看護師
09-04	看護助手
09-05	薬剤師
09-06	管理栄養士
09-07	調理師及び従事者
09-08	診療放射線技師
09-09	臨床検査技師
09-10	歯科衛生士
09-11	歯科技工士
09-12	視能訓練士
09-13	事務職員
09-14	委託職員
09-15	本学学生 医療実習生
09-16	その他
09-17	不明
09-18	当事者複数

## 13) 発生要因

13-01	確認
13-02	観察
13-03	判断
13-04	知識
13-05	技術（手技）
13-06	報告
13-07	身体的条件
13-08	心理的条件
13-09	システム
13-10	連携
13-11	記録の記載
13-12	患者の外見（容姿・年齢） 性別の類似
13-13	勤務状態
13-14	環境
13-15	医療機器・器具・医療材 料
13-16	薬剤
13-17	諸物品
13-18	施設・設備
13-19	教育・訓練
13-20	患者・家庭への説明

## 14) 影響度

14-01	実施前発見：患者への 影響は少ない
14-02	実施前発見：患者への 影響は中程度
14-03	実施前発見：患者への 影響は大きい
14-04	間違いのまま実施
14-05	不明
14-06	その他